

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,099	t-CO <sub>2</sub>
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換出 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,099

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）	.....			%		%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量	.....		.....			t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）	.....		.....			%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量	0.1324	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1311	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.08731	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1004	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1064	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対 基準年度）	.....		1.0	%	34.1	%	24.2	%	19.6	%
原単位あたりの みなし排出量	.....		.....			t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対 基準年度）	.....		.....			%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

観光客の増加・ホテル利用者の上昇に伴い、エネルギー使用量が増えてはいるが、ボックススペースの定期的な節電・空調設定管理を行ったことにより、原単位あたりの排出量は基準年度より削減できている。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	取組状況の確認・評価・見直し		エネルギー使用量を毎月集計し、月次報告による確認。
省エネルギー・省資源の推進／照明、空調	用途に応じた適正な照度基準を定め、照度の測定、器具、ランプの清掃を定期的を実施。		照明機器のこまめな電源管理、清掃。 空調機の温度設定や送風機風量の見直し。 最終退館者による空調OFFの徹底。
省エネルギー・省資源の推進／OA機器	退社時や外出時は、可能な限りパソコンや事務用機器の主電源を切り、待機電力を削減。		従業員へのパソコン、電力使用機器等、電源管理の周知徹底。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・客室内の使い捨てアメニティ不使用/連泊時の客室清掃不要の提案</li> <li>・使い捨てプラスチック製カトラリー (フォーク、スプーン等) の原材料見直し</li> <li>・廃棄物の分別収集管理</li> </ul>
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

朝礼時、従業員への電力使用機器の適正使用の周知徹底
---------------------------